

■合格までの効果的な学習法

① 英進館の授業宿題予定表に従った学習計画をたて、英進館の授業がない日は、毎日最低でも3時間は自宅で勉強する。

テスト結果を気にするよりは、目標達成までのプロセスを一番大切にすること。プロセス重視の第一は、英進館の授業を一番大切にすること。行事があって遅刻しても、できる限り授業は欠席しない。そして、塾がある日、ない日の2パターンについて、緻密な学習計画を立てる。5科目のバランスに注意し、宿題以外に復習の時間を確保する。1週間計画を実行し、無理、無駄な部分の修正をする。計画が確定すると、あとは実行するのみ。できない計画は何の意味もない。

② 私立高校の過去の入試問題の学習

私立高校の場合、問題作成者は毎年ほぼ同じ教師である場合が多いため、難易度、傾向とも、例年大きな差はない。過去の入試問題は最低でも3年分は解くこと。ただ解くのではなく、難易度、傾向、試験時間をよく考慮しながら、観察するような気持ちで問題にあたること。12月からの「入試直前3ヶ月合格特訓」の中で、私立高校入試も念頭に総復習を実施していく。

③ 満点答案の作成

これからは、復習に力を入れる方が、能率が上がる。間違った問題はきちんと復習をし、1週間後また解いて、完全に満点が取れるまで、復習をくり返そう。重要問題はくり返し出題される。

④ キーワードチェック の徹底

大予想！模試の開始時点でも、1科目で2問から3問のケアレスミスで失点している生徒がいる。これは偏差値でいうと、4ほど低く出ていることになる。模試の成績が悪いと悲観するのではなく、「キーワードチェック」の徹底を図ろう。それだけで確実に偏差値を4UPすることができる。

⑤ 間違いノートの作成／自分だけの参考書

間違いノートは面倒な分、自分の言葉で書くことによって、記述力がつく。間違いノートは、受験直前に効率の良い勉強ができるだけでなく、入試のときに見るだけで気持ちが落ち着き、自信が持てる。

⑥ 未来ノートの作成／受験勉強を自分で管理する

未来ノートを作成して、自分が何をやるのか（タスク）といつやるのか（スケジュール）を明確化することで、確実に実行につながり、受験勉強を自分で管理することができるようになる。また、これは将来の高校・大学や社会人としての生活を送る上でも役立つ。

「己を信じて」

福岡高校一年 I・J さん (福岡高校、福岡工業大学附属城東高校、早稲田佐賀高校 合格)

私は中学校二年生の夏に英進館に入館しました。それ以前の私は定期考査ではあまり点数が取れずにいましたが、英進館で猛勉強し、先生方に力を貸してもらったおかげで、学年一位になることができました。そして、受験直前期では定期考査の勉強で自分を鍛えたことで受験勉強の苦しさにも耐えることができました。

私が勉強をする上で大切にしていたことは二つあります。

一つ目は、しっかりと計画を立て、それに沿って勉強することです。そのために私は「未来ノートの活用の徹底」をしました。未来ノートに自分がやらなければならないことを書き出して、ToDoリストを作ることで、簡単に整理をすることができます。自分で計画を立てて、物事を管理する能力を養っていきましょう。また、記録を残しておき、あとから見返すことで反省点や良かった点などを見つけることができ、勉強の振り返りをすることができます。

二つ目は、模試の結果で一喜一憂しないことです。模試は結果を楽しむためにあるものではありません。成績を上げるためには振り返りが最も重要です。模試で出た問題、もしくは似たような問題は次は絶対に正解するぞ！という心持ちでいることが大切です。復習ノートは自分オリジナルの参考書です。自分の弱点や間違えやすい問題を中心にまとめましょう。復習ノートは自分の努力を実際に形にできるものの一つです。だから、この復習ノートは受験当日に試験会場に持っていけばお守りとしても使えます。私はこの会場の誰よりも努力したんだから絶対に大丈夫だ！と自分を鼓舞してくれます。

最後に、全力でサポートしてくださった舞松原校の先生方、そして共に切磋琢磨しあい、成長させてくれたTS・FKZクラスのみんな、本当にありがとうございました。受験生の皆さん、自分を信じて頑張ってください！

(「巣立ち」より抜粋)

⑦ 入試直前3ヶ月合格特訓

期末テストが終わったら、いよいよ「入試直前3ヶ月合格特訓シリーズ」がスタートする。第Ⅰ期(入試基礎力完成講座、12月・プレ冬期講習)、第Ⅱ期(応用・記述力完成講座、冬期講習)、第Ⅲ期(入試実戦力完成講座、1月～公立入試)に分け、ライバルと切磋琢磨することで、合格に必要な学力と入試本番に力を出せる強靱な精神力を身につける。今年度は、12月3日(日)(長崎は11月3日(祝)、熊本・広島は11月26日(日))に第1回の「大予想! 模試」を実施。

⑧ 3学期 いよいよラストサポート

2学期までは、週17時限(公立クラス)で授業を実施、3学期からは、20時限以上の授業時間を確保して、公立高第一志望校合格をめざす。

1月・2月ー「大予想! 模試」を毎週実施。私立高校入試完全突破対策授業と公立高校入試実戦力アップ授業を実施し、「大予想! 模試」の結果で毎週クラスの入替えを行います。各公立高校の合格ラインも毎週発表。規模、内容ともに本番の入試に最も近い模試として、受験生を第一志望校合格へと導く。

入試前2週間ー公立高校入試直前特訓演習と入試激励会を実施。

直前は、時間配分、合格答案の作り方、キーワードチェックなどの最後のつめをおこなっていく。また、入試激励会では、最後の注意と、ファイトがわく激励を担当教師が実施。